

## ◆有料化全市実施説明会 Q&A

日時：平成26年11月23日（日） 午後7時から午後8時30分

場所：芸術館

参加者：148名

- 1 有料化DVD放映
- 2 ポイント説明

（有料化について、製品プラスチックとは、家庭でできる分別・減量の取組み）

- 3 質疑応答

**Q 単身者アパートへの告知を徹底してほしいです。3月に周知しても、4月には違う人が入ってきます。また、クリーンステーションに、有料化告知の看板を設置してほしいです。**

A 単身者へは、ポスティング等を行ったりする他、転入者へは必ず資源循環課に寄ってもらおうよう案内をしています。不動産屋業者などの協力も仰いでいこうと考えています。

有料化と製品プラスチック収集開始に関する周知看板は、12月から順次クリーンステーションに設置していく予定です。

**Q 燃えないゴミの分別を徹底するようにしてほしい。パンフレットのQ7を、もっとPRしてほしい。危険・有害ごみは無料収集なので、紛らわしいと思います。**

A 燃えないごみの周知徹底のため、資源物とごみの分け方・出し方パンフレットを一新し、全戸配布するとともに、いろいろな機会をとらえて周知していこうと考えています。

**Q 今までと同じ透明・半透明の袋で、燃やすごみと燃えないごみを出した場合、どのくらい放置されるのですか。**

A マナーを守らないごみについて、どのくらいごみを置いておくかという期間については、場所に応じて期間を考えるよう検討しています。公平性が損なわれないよう、十分な周知を行っていきます。

**Q 戸別収集地区のモデル地区の検証結果が、市民に十分に周知されていないと思います。どうして有料化先行実施になったのか、教えてください。ルールを守らない人にどう対処していくのか、教えてください。**

A 戸別収集のモデル地区については、アンケートをとったところ、概ね賛成の意見は多かったです。しかし、市全体では、様々なご意見が多々あり、なかなかご理解いただけない部分があることから、有料化実施後半年程度の検証を踏まえて、戸別収集の実施の判断をしていこうと考えています。

ルールを守らず無料の袋で出されたごみについては、クリーンステーションに立ち番を行ったり、近隣にポスティングを行ったりして、周知を図っていきたいと考えています。

**Q 戸別収集モデル地区は、継続になるのでしょうか。**

A 一定期間継続し、その結果を踏まえて判断していきたいと考えています。

**Q 全市で一斉に戸別収集を実施したらいいのではないですか。**

A さまざまな検証を行い、判断材料を集めて判断していきます。

**Q 去年は戸別収集とあわせて実施と言ってましたが、どうして有料化先行実施に変えたのですか。**

A 市としては同時実施を目指してきましたが、様々なご意見をいただき、戸別収集に関しては疑問点を払しょくしきれていない部分もあり、有料化の結果を踏まえて、検討してい

きたいと考えています。

**Q 市長にお願いします。新焼却施設が10年後に完成することなのですが、具体的スケジュールや進行状況を、市民ひとりひとりに、年に1回は教えてください。**

A 焼却施設については、他市との連携による広域処理等も含めて様々な検討を行ってききましたが、結果的には広域処理の計画は実現しませんでした。また、バイオマスエネルギー施設の建設だけでは、長期的に安定したごみ処理を行うための解決策にはならないとの考えから、新焼却施設を建設することとしました。今後、新焼却施設の4候補地について、できる限り情報を開示し、説明会等も開きたいと思っています。

**Q 戸別収集は、予算や議会の関係で、ペンディングになっているのはよくわかります。負担の公平化という観点からも、今後戸別収集のモデル地区を3地域に限らず、いろんな地域で、順番に実施すべきではないでしょうか。私は幹線道路のそばに住んでいますが、そのような地域でも、モデル地域として戸別収集を行うことを強く希望します。**

A 3か所地区についてモデル地区を継続しているのは、同じ地区で継続して検証を行うという理由であり、あえて地区の変更をしておりません。他の地区で戸別収集をご希望されている方もおられるということ、ご意見として承りました。

市内の色々な地区で、輪番制で戸別収集を行うという対応については、費用等様々な観点から、どのような形で戸別収集を行うのかという点も含めて、検討していきたいと考えております。

**Q バイオマスエネルギー施設を費用対効果が悪いと廃止されましたが、もう一度再考していただきたいです。**

戸別収集は、マンションに住んでいる方には適用されないのだから、ふれあい収集を充実させればよいのではないのでしょうか。

燃やすごみにはミックスペーパーの混入が一番多いと思います。またトイレットペーパーやラップの芯についても、リサイクルできるよう考えてほしいです。

いまだにネットしかないクリーンステーションをみかけますが、カラス等からの被害減少のため、ボックスタイプの使用を指導などしてください。

A 生ごみの資源化は、私の意見としては、仮に生ごみの処理施設を作ったとしても、最終的には将来にわたる安定的なごみ処理ができないため、焼却施設を作ることは必要であると考えています。生ごみの資源化は、他市でも実施しているところが出てはきているものの、まだ新しい試みで、実施するかしないかは、また検討していくべきだと考えています。

トイレットペーパーの芯等のリサイクルについても、今後、他市等の事例も含め、検討していこうと考えています。

カラスネットについても、ボックスタイプの利点等について情報を提供していただき、それを活用して情報を提供していきたいと考えております。

**Q 数値を使った説明がありません。袋の収入はいくらなのか。今泉の焼却を止めて、ごみがあふれたらいくらかかるのか、新焼却施設の建設にいくらかかるのか、そういったことを数字でデータを示してほしいです。10年後のマスタープランを出してください。**

A 有料化の手数料としての歳入は、1年間で3億5千万円を見込んでいます。その中から、有料袋（指定収集袋）の作製や流通費用として、1億円程度が支出されます。残りの2億5千万円については、新焼却施設の建設費としての積み立て等に使用していくことを考えています。

新焼却施設については、約 60 億円程度の費用がかかるのではないかと考えております。

現在のごみ処理基本計画は来年度までとなっており、平成 28 年度以降の計画をいま作成していますが、有料化を含めた家庭系ごみの対策とともに、事業系ごみの分別徹底による削減の 2 本柱で、焼却ごみを 3 万トン以下にしていきたいと考えております。

28 年度以降の 10 年間の基本的な考え方としては、ごみの資源化も引き続き行いますが、発生抑制と再使用についてさらに進めていく予定であり、みなさまにお知らせしていこうと考えています。

**Q ごみ袋の値段の根拠があれば納得するのですが。**

A ごみの発生抑制の効果が高いこと、実施後ごみのリバウンドが起きにくいこと、市民の方に過度な負担を与えないこと、また他市との均衡等も考えて、1 リットルあたり 2 円で金額設定を行いました。1 リットル 2 円は、ごみ処理費用の 4 分の 1 をみなさまにご負担いただくこととなります。

**Q いろいろな地域で、戸別収集のモデル地区を行うべきだと思います。モデル地区実施の答えが抽象的で、具体的に考えていないような気がします。**

また、リーフレット Q 7 に関して、割れていない陶器類は、割って出したら危険・有害ごみで無料になるのでしょうか。

**粗大ごみの出し方はいままでどおりでいいのでしょうか。**

A 戸別収集の良い所も悪い所も、データとして取っており、公表しています。

良い所は、クリーンステーションの管理の負担が減ること、分別がより進むこと等があげられます。

悪い所は、費用面や、景観、防犯上の懸念等があがりました。

割れていない陶器類は燃えないごみに入れますが、割れてしまったものは、危険・有害ごみになります。危険なので、わざわざ割ったりすることはしないでください。

粗大ごみについては、いままでと出し方も料金も変わりません。

**Q 有料化を何年後に見直しをすとか、そういう計画はありますか。**

A 現時点で見直しをすることは考えていません。全国で約 6 割の自治体が導入しているので、ある程度予測はつくのですが、万一、不測の事態がおきた場合には、対応していきたいと考えています。